

+ 日本赤十字九州国際看護大学

募 集 要 項

平成 26(2014)年度

大学院看護学研究科
看護学専攻修士課程

入学試験

〔一般選抜・社会人選抜・社会人推薦〕

目 次

アドミッション・ポリシー	1
--------------	---

募 集 要 項

1. 募集人員	3
2. 募集専攻領域	3
3. 入試方法	3
4. 入学試験日程	3
5. 出願資格	4
6. 事前面接／7. 個別出願資格審査	5
8. 出願手続	6
9. 試験スケジュール	7
10. 試験会場／11. 合格発表方法等／12. 個人成績の開示	8
13. 個人情報の取り扱いについて	8
14. 入学手続き・納付金額等	8
15. 長期履修制度について	10
16. 教育方法の特例／17. 教育訓練給付制度について	11
18. 授業料免除制度について	11
19. 奨学金制度について／20. 案内図	12

教 育 課 程

カリキュラムポリシー	13
ディプロマポリシー	14
専攻領域の概要	15
授業科目一覧、授業科目の概要	16
【保健コース】・世界の健康危機管理　・ヘルスプロモーション	
【看護コース】・生涯発達看護　・広域看護　・基盤看護	
履修モデル	24
入学から修了までの履修の流れ	27

入学出願書類一式

本募集要項に関して不明な点は、次にお問合せ下さい。

日本赤十字九州国際看護大学事務局 学務課

〒811-4157 福岡県宗像市アスティ1-1

TEL 0940(35)7008 (直通)

FAX 0940(35)7021

ホームページアドレス <http://www.jrckicn.ac.jp>

※個人情報の取扱いについて

提出された個人情報については入学者の選抜以外の目的に使用
することはありません。

看護学研究科看護学専攻修士課程

《教育理念》

人間の尊厳を基調として、多様な健康ニーズに対応できる高度な専門性を追究する。

《教育目標》

赤十字の人道の理念を基調に、多様な健康ニーズを学際的に研究し、国内外の保健・医療・福祉に関連した社会的ニーズに対応する理論と技術を創出・実践する看護分野の専門家を育成する。

アドミッション・ポリシー

《本大学院はこのような人を求めています》

看護・保健・福祉分野の理論的知識を専門的・学際的・国際的に発展させる意欲のある人

例えば、

- 日々の実践の中にある疑問・問題を理論的・学際的見地から研究したい
- 日々の実践を学問として体系化し、看護のパワーアップをめざしたい
- 教育指導者また管理者として、看護学・保健学の教育や管理についての理論や方法を研究したい
- 個々の地域の文化特性を活かす看護・保健実践の理論や技術を開発したい
- 日本の看護・保健実践をグローバルに応用する具体的方法を提案したい
- 看護学・保健学の成果を、広く社会に提供するための論理的表現・企画立案・分析・評価にかかわる知識と技術を向上させたい

本学は

あなたの中にある疑問や問題を取り上げ

あなたの看護に対する思いを発展させ

あなたの専門性を強化します

募 集 要 項

1. 募集人員

看護学専攻 10名（社会人推薦若干名を含む）

2. 募集専攻領域

コース（修得学位）	専攻領域
保健コース （保健学修士）	世界の健康危機管理
	ヘルスプロモーション
看護コース （看護学修士）	生涯発達看護 （成育看護、成人／老年看護、助産※1）
	広域看護 （クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケア）
	基盤看護 （看護管理、看護教育、基礎看護）

備考：上記の専攻領域から一つ選択して入学願書に記入してください。

（※1）助産師養成教育（助産師国家試験受験資格取得）は、看護コース 生涯発達看護領域（助産分野）が行います。（17頁参照）

3. 入試方法

入試方法	入試科目
一般選抜	小論文・英語・専門科目・面接
社会人選抜	小論文・英語・面接
社会人推薦	小論文または英語（選択）・面接・◆推薦状◆

※社会人推薦において、「世界の健康危機管理領域」への出願者は、英語を選択してください。

※社会人選抜及び社会人推薦において、助産師国家試験受験希望者は専門科目が追加されます。

4. 入学試験日程

	出願期間	試験日	合格発表日	入学金等振込期間	入学手続締切日 （入学手続書類）
前期試験	平成25年 9月17日(火)～ 9月26日(木) (当日消印有効)	平成25年 10月19日 (土)	平成25年 10月25日(金) 10時	平成25年 10月25日(金) ～ 11月8日(金) 15時まで	平成26年 3月14日(金) 15時まで (当日消印有効)
後期試験	平成25年 12月24日(火)～ 平成26年 1月7日(火) (当日消印有効)	平成26年 1月25日 (土)	平成26年 1月31日(金) 10時	平成26年 1月31日(金) ～ 2月14日(金) 15時まで	

5. 出願資格

- (1) **一般選抜**に出願できる者は、下記の①～⑧のいずれかに該当する者としてします。
 ただし、助産師国家試験受験希望者は看護師資格を有することとし、大学院合格後であっても看護師国家試験に不合格となった場合は大学院の合格を取り消すものとする。
- (2) **社会人選抜**に出願できる者は、3年以上の看護師・保健師・助産師の実践経験または国際的活動の実践経験を有する者(※2)で、下記の①～⑧のいずれかに該当する者としてします。
- (3) **社会人推薦**に出願できる者は、3年以上の看護師・保健師・助産師の実践経験または国際的活動の実践経験を有する者(※2)で、下記の①～⑧のいずれかに該当する者としてします。
 併せて、以下のA.～C.の条件を満たし、施設長の◆推薦状◆が必要です。
- A. 本大学院を第一志望とし、合格後に入学を確約する者
 B. 学習意欲が高く、勤務態度が良好な者
 C. 健康で協調性があり社会的な生活態度が良好な者
- (※2) 勤務先の在職証明書、国際的活動に関しては「当該機関による派遣証明書」を提出すること。

(1) 一般選抜の場合	(2) 社会人選抜・(3) 社会人推薦の場合
①大学を卒業した者および平成26年3月31日までに卒業見込みの者	①大学を卒業した者
②学士の学位を授与された者	
③外国において学校教育における16年の課程を修了した者	
④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者	
⑤文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)	
⑥学校教育法第102条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者	⑥学校教育法第102条第2項の規定により大学院を置く大学は、文部科学大臣の定めるところにより、第八十三条の大学に文部科学大臣の定める年数以上在学した者であって、当該大学院を置く大学の定める単位を優秀な成績で修得したと認める者
⑦本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者	
⑧その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者	
上記⑥⑦⑧で出願しようとする者は、事前に出願資格の認定を受けてください。 (5頁「個別出願資格審査」をご参照ください)	

6. 事前面接

出願を希望する者は、出願前に志望する専攻領域の教員と面談し、入学後の研究・教育活動について相談を行う必要があります。

まず、事前面接の予約を行う必要がありますので、学務課（0940-35-7008）までご連絡ください。お電話の際、志望する研究領域、修士論文の研究テーマが決まっているか否か、連絡先、事前面接の希望日等をお聞きします。その後、学務課より面接者、日時を連絡いたします。

7. 個別出願資格審査

個別出願資格審査が必要な人は、事前面接（前述）の前に審査を受ける必要があります。同時に事前面接（前述）の予約を行ってください。

前述4頁の5.「出願資格」(1)一般選抜の場合の⑥⑦⑧及び(2)社会人選抜・(3)社会人推薦の場合の⑥⑦⑧に該当し出願を希望する者は、出願資格の認定申請を行ってください。

(1) 提出書類

「出願資格認定申請書」

○本学大学院所定の用紙を使用し、必要事項を記入してください。

(2) 提出手続

「書留」郵便で提出期間内に着くよう本学学務課へ送付してください。

〒811-4157 福岡県宗像市アスティ1丁目1番地

日本赤十字九州国際看護大学事務局学務課

○封筒下部に「出願資格認定申請書在中」と朱書きしてください。

(3) 審査方法

申請者から提出された書類により審査します。場合によっては、面接を行うこともあります。

(4) 結果通知

書面を持って通知します。「速達書留」にて下記結果通知日に発送します。

出願資格有と認定された者は、出願期間内に出席してください。

	提出期間	結果通知
前期	平成25年8月12日(月) ～8月23日(金)	平成25年8月30日(金)
後期	平成25年11月18日(月) ～11月29日(金)	平成25年12月6日(金)

8. 出願手続

(1) 出願書類等

次の出願書類等を取りまとめ、本学所定の出願用封筒に入れ「速達書留」郵便で本学学務課へ送付してください。

〒811-4157 福岡県宗像市アスティ1丁目1番地
日本赤十字九州国際看護大学事務局学務課

出願書類等		摘 要
1	入 学 願 書 履 歴 書 研 究 計 画 書	① 本学所定の用紙を使用してください。 ② 写真2枚(出願日前3か月以内に撮影した上半身、正面、脱帽のもの、縦4cm×横3cm)を入学願書、写真票に貼付してください。 (カラー・白黒どちらでも可)
2	受 験 票 写 真 票 入学検定料納入票	③ 受験票(はがき)の表に、送り先、あて名を明記し320円分の切手(速達料を含む)を貼付してください。 ④ 入学検定料納入票に、検定料振込受付証明書を貼付してください。
3	入 学 検 定 料	30,000円 銀行振込に限ります。詳細は、7頁の(2)入学検定料の納入を参照してください。
4	証 明 書	(1) 大学の卒業証明書又は卒業見込証明書、及び成績証明書 (2) 前述4頁の「5. 出願資格」の(1)の②、(2)・(3)の②による出願者は、次の証明書が必要です。 ア. 既に学位授与機構により学位を授与された者は、学位授与証明書並びに学位授与の対象となった専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書 イ. 既に学位授与機構に認定修了を申請している者は、学位授与申請受理証明書並びに学位授与の対象となる専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書 ウ. 10月に学位授与機構に認定修了を申請している者は、学位授与の対象となる専攻に係る授業科目の単位認定を行う機関の修了証明書及び成績証明書 (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者は、修了証明書及び成績証明書 (4) 前述4頁の「5. 出願資格」の(1)の⑤⑥⑦⑧および(2)・(3)の⑤⑥⑦⑧による出願者は、最終教育機関の卒業証明書又は卒業見込証明書、及び成績証明書 ○大学以外の最終教育機関の卒業証明書又は卒業見込証明書、及び成績証明書も提出してください。 (5) 社会人選抜・社会人推薦の場合は、在職証明書あるいは、「当該機関による派遣証明書」 ○証明書は発行者が厳封したものを提出してください。 (6) 免許証のコピー(A4縮小版)の提出 ・看護師、保健師、助産師の免許を有する者は、免許証のコピー ○平成25年度看護師国家試験受験予定者は、提出不要です。
5	推 薦 状	施設長の推薦状(社会人推薦のみ)

(2) 入学検定料の納入

本学所定の振込依頼書により銀行窓口にて、下記のいずれかの振込先に振り込んでください。検定料振込領収書は振込控えとして本人が保管し、検定料振込受付証明書を「入学検定料納入票」に貼付してください。証明書を貼付していないものは、出願書類を受理しません。

【振込先指定銀行】

西日本シティ銀行 自由ヶ丘支店 普通預金 0413650

福岡銀行 赤間支店 普通預金 0465624

口座名義：日本赤十字九州国際看護大学 学長 浦田 喜久子

[ニッポンシティバンク自由ヶ丘支店 普通預金 0413650
フクオカ銀行 赤間支店 普通預金 0465624]

(3) 出願上の注意

- ①出願書類に不備がある場合は、受理できません。
- ②出願書類に不正があった場合は、入学許可の後でもこれを取消します。
- ③提出された出願書類及び入学検定料は、返還しません。

9. 試験スケジュール

(1) 試験日時

	試験日	試験時間	
		筆記試験	面接試験
前期	平成 25 年 10 月 19 日 (土)	9 : 00 ~ 12 : 40	13 : 30 ~
後期	平成 26 年 1 月 25 日 (土)		

面接時間は変更になる場合があります。

(2) 試験科目・時間割 (前期・後期共通)

英語	小論文	専門科目	面接
9 : 00 ~ 10 : 00	10 : 20 ~ 11 : 20	11 : 40 ~ 12 : 40	13 : 30 ~

(3) 受験上の注意事項

- ①受験者は、各自の試験室を確認し、試験開始 15 分前までに入室してください。
- ②試験開始後 20 分を越える遅刻は認めません。
- ③当日は「受験票」「HB の鉛筆又はシャープペンシル」「消しゴム」を必ず持参してください。
- ④英語に関しては、大学にて辞書 (研究社『新英和中辞典』) を準備します。
- ⑤受験票は、入学手続きの際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- ⑥昼食は、各自持参してください。

(4) その他

追加募集を行うことがあります。
実施の有無については、平成 26 年 2 月 21 日 (金) 以降にお問合せください。

日本赤十字九州国際看護大学 事務局 学務課
電話 (0940) 35-7008

10. 試験会場（12 頁の地図を参照してください）

福岡県宗像市アスティ 1 丁目 1 番地
日本赤十字九州国際看護大学

11. 合格発表方法等

本学のゲート棟に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書及び入学手続書類を速達書留郵便で送付します。

なお、同日、ホームページ ([http:// www.jrckicn.ac.jp](http://www.jrckicn.ac.jp)) においても合格者の受験番号を掲示いたします。これは補助的なものであり、大学内での合格掲示および合格者本人への合格通知書にとって代わるものではありません。

（合格発表に関する問い合わせには、一切応じられません）

12. 個人成績の開示

受験生本人（開示申請者）の請求により、入学試験の個人成績を開示します。

(1) 開示する個人成績の内容

英語、小論文、専門科目の得点および総合得点

(2) 開示申請者は、本学受験票を提示してください。

(3) 個人成績の開示申請は、平成 26 年 4 月 24 日（木）から 5 月 22 日（木）の期間に受け付けます。

(4) 開示申請の受付先・問合せ先は、本学事務局学務課です。

TEL/0940-35-7008 E-mail/gakumukagakuseikakari@jrckicn.ac.jp

〔大学窓口で受取る場合〕

- ・学務課窓口で「個人成績開示申請書」を受け取り、必要事項を記入した後、受験票（写も可）を添えて、学務課窓口に提出してください。原則、翌日にお渡しします。

〔郵送での受取りの場合〕

- ・学務課へ電話等にてご連絡ください。「個人成績開示申請書」を郵送いたします。「個人成績開示申請書」に必要事項を記入し、受験票（写も可）および返信用封筒（送り先住所記載、80円切手貼付）を添えて、学務課あてに郵送してください。申請書等受理後、翌日に発送します。

○「個人成績開示申請書」は本学ホームページからダウンロードできます。

13. 個人情報の取り扱いについて

提出された個人情報について、入学者の選抜以外の目的に使用することはありません。

14. 入学手続き・納付金額等

(1) 入学申込手続書類

合格者には、合格通知書とともに入学手続きに必要な書類等および手続き方法について別途送付いたします。

所定の手続きの期間については、前述 3 頁の **4. 入学試験日程** を参照願います。

所定の手続きを完了した者に、入学許可書を送付します。

○在職のまま就学予定の者は、入学手続きに際して施設長の「承諾書」が必要となります。また、「教育方法の特例」を希望する者は、「教育方法特例適用申請書」の提出が必要となります。（詳細については 11 頁参照）

(2) 入学金

入学金 300,000 円

- ①前期試験合格者は平成 25 年 10 月 25 日（金）～11 月 8 日（金）15：00 までに納付してください。
- ②後期試験合格者は平成 26 年 1 月 31 日（金）～ 2 月 14 日（金）15：00 までに納付してください。

- ・ 本学所定の振込依頼書により銀行窓口にて、指定の口座に振り込んでください。
- ・ 入学申込手続期間内に入学金の納付を行わない場合は、入学資格を失います。
- ・ 既納の入学金は、返還しません。

～入学金の免除について～

全額免除、半額免除になる者は、以下のとおりです。

全額免除	① 日本赤十字九州国際看護大学卒業(見込)者
	② 日本赤十字九州国際看護大学大学院修了(見込)者
	③ 出願時に日本赤十字九州国際看護大学に在職する者
半額免除	④ 出願時に日本赤十字社施設に在職する者
	⑤ 日本赤十字社看護師等養成施設の卒業(見込)者
	⑥ 日本赤十字九州国際看護大学の実習施設に在職する者

(3) 入学金を除く前期納付金

入学金を除く前期納付金（授業料・維持運営費）500,000 円は平成 26 年 3 月 14 日（金）15：00 までに納付してください。

助産師国家試験受験希望者は、実験実習費 100,000 円を併せた前期納付金 600,000 円を平成 26 年 3 月 14 日（金）15：00 までに納付してください。

○本学所定の振込依頼書により銀行窓口にて、指定の口座に振り込んでください。

なお、平成 26 年 3 月 31 日（月）17：00（土、日、祝日を除く）までに「本学への入学を辞退する」旨の申し出があった場合に限り、既納の「入学金を除く納付金」は返還します。その他の場合には、返還しません。

初年度納付金額

納 付 金		金 額	納 付 期 限
入 学 金		300,000 円	前期試験合格者 平成 25 年 11 月 8 日（金） 後期試験合格者 平成 26 年 2 月 14 日（金）
授業料	前 期 分	400,000 円	平成 26 年 3 月 14 日（金）
	後 期 分	400,000 円	平成 26 年 10 月 31 日（金）
維持運営費	前 期 分	100,000 円	平成 26 年 3 月 14 日（金）
	後 期 分	100,000 円	平成 26 年 10 月 31 日（金）
計		1,300,000 円	

助産師国家試験受験希望者は、別途実験実習費（前期 100,000 円、後期 100,000 円）を納付期限（前期：平成 26 年 3 月 14 日（金）、後期：平成 26 年 10 月 31 日（金））までに納入する必要があります。

次年度以降の納付金額

納 付 金		金 額	納 付 期 限
授業料	前 期 分	400,000 円	4 月末日
	後 期 分	400,000 円	10 月末日
維持運営費	前 期 分	100,000 円	4 月末日
	後 期 分	100,000 円	10 月末日
計		1,000,000 円	

助産師国家試験受験希望者は、別途実験実習費（前期 100,000 円、後期 100,000 円）を納付期限（前期：4 月末日、後期：10 月末日）までに納入する必要があります。

15. 長期履修制度について

長期履修制度は、職業を有しているなどの事情で標準の修業年限（2 年）では修了することが困難となる者を対象に、長期にわたり計画的に教育課程の履修を認める制度です。

(1) 申請資格

- ①職業を有している者
- ②その他研究科長が特に必要と認めた者

(2) 履修期間 3 年

(3) 履修の申請手続き

- ①手続期間 平成 26 年 2 月 3 日(月)～4 月 18 日(金)
- ②提出書類
 - ・長期履修申請書（所定様式）
 - ・在職証明書
 - ただし、出願時に提出した場合は不要
 - ・その他本研究科が必要と認める書類

(4) 期間の変更

本研究科において必要と認めたときは、在学中 1 回に限り、短縮することができる。

納付金額

納 付 金		金 額			納 付 期 限 1 年 目
		1 年目	2 年目	3 年目	
入 学 金		300,000 円	—	—	前期試験合格者 平成 25 年 11 月 8 日(金) 後期試験合格者 平成 26 年 2 月 14 日(金)
授業料	前期分	400,000 円	200,000 円	200,000 円	平成 26 年 3 月 14 日(金)
	後期分	400,000 円	200,000 円	200,000 円	平成 26 年 10 月 31 日(金)
維持運営費	前期分	100,000 円	50,000 円	50,000 円	平成 26 年 3 月 14 日(金)
	後期分	100,000 円	50,000 円	50,000 円	平成 26 年 10 月 31 日(金)
計		1,300,000 円	500,000 円	500,000 円	

助産師国家試験受験希望者は、以下のとおり別途実験実習費を納入する必要があります。

納 付 金		金 額			納 付 期 限 1 年 目
		1 年目	2 年目	3 年目	
実験実習費 (※助産教育に限る)	前期分	100,000 円	50,000 円	50,000 円	平成 26 年 3 月 14 日 (金)
	後期分	100,000 円	50,000 円	50,000 円	平成 26 年 10 月 31 日 (金)

16. 教育方法の特例

入学後も在職のまま就学する者に対し、大学院設置基準第 14 条(教育方法の特例)の適用が認められる場合があります。

適用が認められた場合には、毎学期、平日は昼間の授業に加えて夜間の授業を開講し、就学上の便宜を図ります。また、夏季及び冬季休業中においても授業、演習、実習及び研究指導を行うほか、情報ネットワーク(メール)を利用し、研究活動を円滑に行います。

適用を希望する者は、出願する前、できるだけ早い時期に、志願する専攻領域の研究指導教員と面談してください。

[大学院設置基準 第 14 条(教育方法の特例)]

第 14 条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

17. 教育訓練給付制度について

本学の大学院の各専攻領域は、「教育訓練給付金対象講座」です。

「教育訓練給付制度」とは、働く人の主体的な能力開発の取組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。

一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者(在職者)または一般被保険者であった者(離職者)が、厚生労働大臣が指定する教育訓練を受講し修了した場合、教育訓練施設に支払った教育訓練経費の 20%に相当する額(上限 10 万円)がハローワークから支給されます。

[指定期間 平成 25 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日]

ただし制度の性格上、カリキュラムの変更等に伴い対象とならない領域が発生することがあります。

18. 授業料免除制度について

本学では、成績優秀者に対して、本学大学院授業料の免除に関する規程に基づき、授業料免除を行う制度があります。

19. 奨学金制度について

奨学金は、人物・学業ともに優秀な学生が、経済的理由により就学が困難と認められる場合に、学資として貸与または給付される制度です。

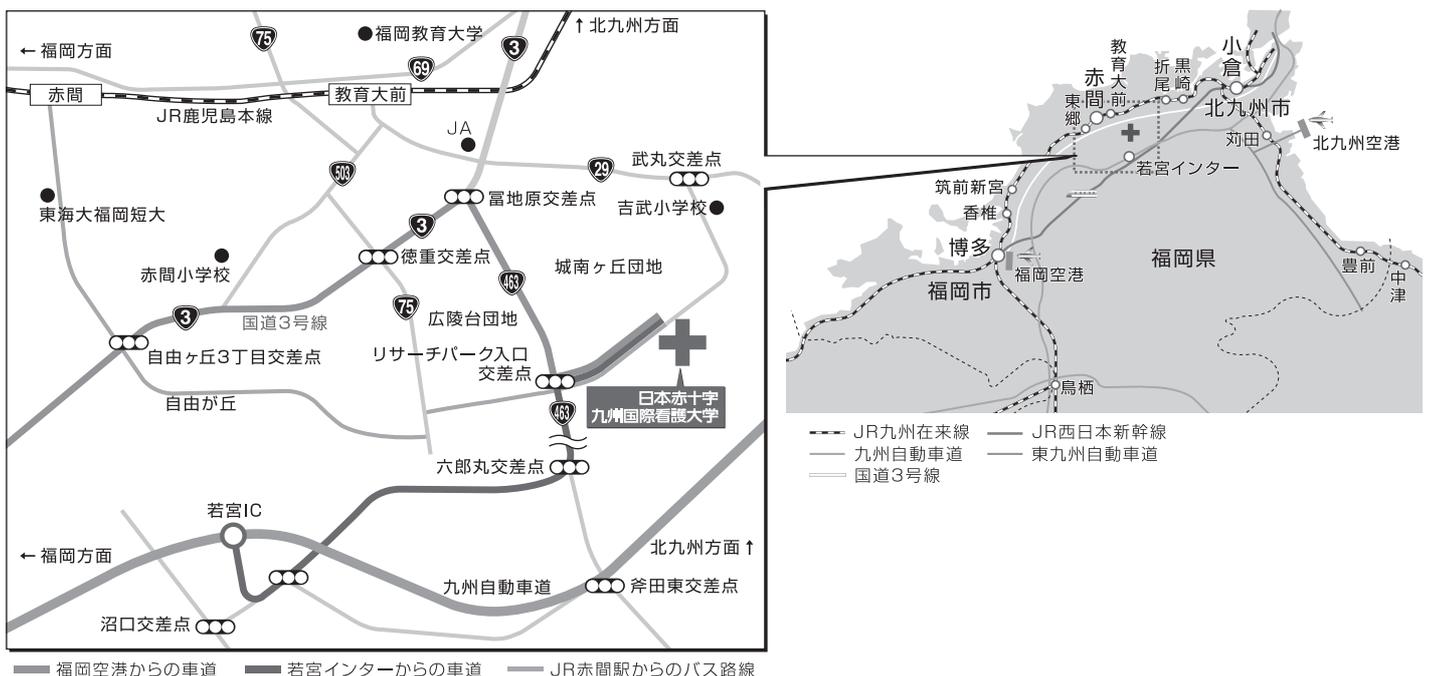
本学で現在取り扱っている奨学金は以下のとおりです。

- (1) 日本赤十字九州国際看護大学上田奨学金 (年間 100 万円)
- (2) 財団法人 日本赤十字看護師同方会奨学資金 (総額 100 万円)
- (3) 独立行政法人 日本学生支援機構奨学金 (第一種・第二種)
- (4) 財団法人 国際看護師協会東京大会記念奨学金 (総額 180 万円以内)
- (5) 小倉一春記念国際看護奨学基金 (年間 72 万円)
- (6) 日本赤十字社山口県支部奨学金 (年間 60 万円)
- (7) 総合病院山口赤十字病院奨学金 (年間 60 万円)
- (8) 武蔵野赤十字病院 (年間 60 万円)

○応募には、いろいろな応募資格や条件があります。詳細については学務課に確認してください。

20. 案内図

福岡・天神バスセンターから、西鉄バス「日赤看護大学」行きに乗れば、約 70 分で着きます。1 日 13 便が授業の開始・終了に合わせて運行されています。また、JR 赤間駅南口から、西鉄バスによって約 15 分で結ばれています。



【車をご利用の場合】

若宮インター(九州自動車道) ____ (車20分)
 福岡空港 _____ (車50分)

【公共交通機関の場合/JR & 西鉄バス】

博多駅 __ (35分) __ ▶ 赤間駅 __ (バス15分)
 小倉駅 __ (35分) __ ▶ 赤間駅 __ (バス15分)

教 育 課 程

カリキュラムポリシー

日本赤十字九州国際看護大学大学院看護学研究科は、その掲げる教育理念および教育目的を達成するために、保健と看護の2つの特別研究コースを設置し、高度な保健学・看護学教育者、および保健学・看護学研究者の養成を目指しています。併せて複雑多様化する産科領域の問題を解決することができる助産師を養成するために、助産師国家試験受験資格取得に必要な教育科目を設けています。

1. 赤十字の人道の理念を基調に、多様な健康ニーズを学際的に研究するために、保健と看護の両コースにおける学修の基盤となる共通必修科目と共通選択科目を設けています。
2. 共通必修科目は、グローバルな健康課題を研究するための基礎科目、研究を自律的に遂行するために必要となる基本的な科目、医療が抱える様々な問題に対応できる知識や方法を学ぶための科目を設定しています。
3. 共通選択科目は、学部教育からの継続を反映する科目と、各専攻領域（分野）の発展・深化につながる科目が設定されているので、研究の基礎を再確認しながら段階的に学ぶとともに、保健師、看護師、助産師としての専門性を強化することができます。
4. 専門科目については、それぞれの専門領域において将来教育や、研究に従事するときに求められる知識や技術を習得するのに必要な科目を設定しています。これに加えて、保健と看護のコースでは、演習・特別研究を、そして助産師国家試験受験資格取得予定者には演習・課題研究という科目を設定しています。これらの科目では、研究方法を修得し、それを踏まえて、学問的成果として修士論文が課せられています。
5. 大学院生の自律的、学際的な学びを支援するために、既存の看護の専門領域を超えた、リベラルアーツ、保健医学系の教員による総合的な研究指導体制を整えています。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

本学修士課程に2年以上在学し、専攻領域毎に設定された所定の科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士の学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格した者に修士の学位を授与します。

■ 授与される学位

- 1) 保健学コース「世界の健康危機管理」「ヘルスプロモーション」領域を履修した者には、「修士（保健学）」の学位が授与されます
- 2) 看護学コース「生涯発達看護」「広域看護」「基盤看護」領域を履修した者には「修士（看護学）」の学位が授与されます。

■ 「生涯発達看護」領域で、助産師国家試験受験資格の取得を希望する者

助産師国家試験受験資格の取得を希望する者は、専攻領域毎に設定された科目に加えて、助産師国家試験受験資格に必要な28単位を履修し（合計58単位以上）、かつ、「特別研究」に代えて、「課題研究」が課されます。

専攻領域

保健 コース	世界の健康危機管理	感染症や各種災害に加え巨大大事故や貧困など、人間の健康と安全を脅かす要因は多様化している。本領域では、グローバルな観点から、健康を妨げる要因を分析するとともに、危機発生時に適正かつ効果的な活動を行い、指導力を発揮できる能力を高めることをめざす。
	ヘルスプロモーション	世界的高齢化は、疾病治療に加え健康の保持増進すなわちヘルスプロモーションをますます必要としている。本領域では、地域社会のライフスタイルを考慮した個々人の健康支援への実践計画策定と指導を行うとともに、健康をめぐる公共政策に提言できる人材の育成をめざす。
看護 コース	生涯発達看護 ・ 成育看護 ・ 成人/老年看護 ・ 助産	国際化を含む生活様式の多様化は人の一生に新たな課題を生じさせている。本領域では、成長の段階に応じ、小児期・思春期・成人期・老年期および次世代へのリプロダクションサイクルにかかわる助産（母性）を区分し、特徴的な健康問題を探究するとともに、区分を超えたローカルまたグローバルな保健分野の問題をも専門的に探究できる人材の育成をめざす。なお、助産では必要科目を履修し単位を取得すれば助産師国家試験受験資格を得られる。
	広域看護 ・ クリティカルケア ・ メンタルヘルスケア ・ 在宅ケア	人間の発達段階にかかわらず、誰でもが遭遇しうる多様な健康の課題を、クリティカルケア、メンタルヘルスケアおよび在宅ケアという異なった切り口から探究し、今後の課題に対して、専門的かつグローバルに関与できる人材の育成をめざす。
	基盤看護 ・ 看護管理 ・ 看護教育 ・ 基礎看護	技術的に著しく進歩した医療の中でも、人を看るといふ看護の本質は不変である。しかし、グローバル化した世界ではものや情報は激しく交流し、人のライフスタイルも激変する。本領域では、このような社会の変化を視野に入れて、看護分野の多様な課題を取り上げ、安全で効果的効率的な看護実践に必須の組織マネジメント、人材育成のあり方と方法論、看護制度と政策論を多角的・専門的に探究する。

授業科目一覧（保健コース及び看護コース）

区 分	授 業 科 目	単 位 数	時 間 数	履修方法 及び 修了要件	履修方法及び 単位数				備 考	
					1 年次		2 年次			
					①	②	③	④		
共通必修科目	人間の安全保障と赤十字	1	15	共通 必修 9 単位		1				
	グローバルヘルス	1	15		1					
	保健・看護総合特論Ⅰ	1	15		1					
	看護理論	1	15		1					
	法と倫理	1	15			1				
	専門外国語講読Ⅰ	1	15		1					
	専門外国語講読Ⅱ	1	15			1				
	研究方法Ⅰ	2	30		2					
領域必修科目	保健 コース	世界の 健康危機管理	世界の健康危機管理特論Ⅰ※	2	30	専攻領域 必修 12 単位	2			
			世界の健康危機管理特論Ⅱ	2	30			2		
			演習（世界の健康危機管理）	4	120		4			
			特別研究 （世界の健康危機管理）	4	120				4	
	ヘルス プロモーション	ヘルスプロモーション特論Ⅰ ※	2	30	専攻領域 必修 12 単位	2				
		ヘルスプロモーション特論Ⅱ	2	30			2			
		演習（ヘルスプロモーション）	4	120		4				
		特別研究 （ヘルスプロモーション）	4	120				4		
	看護 コース	生涯発達看護 ・成育看護 ・成人/老年看護 ・助産 注1	生涯発達看護特論Ⅰ※	2	30	専攻領域 必修 12 単位	2			
			生涯発達看護特論Ⅱ	2	30			2		
			演習（生涯発達看護）	4	120		4			
			特別研究/課題研究 （生涯発達看護）	4	120				4	
		広域看護 ・クリティカルケア ・メンタルヘルスケア ・在宅ケア	広域看護特論Ⅰ※	2	30	専攻領域 必修 12 単位	2			
			広域看護特論Ⅱ	2	30			2		
			演習（広域看護）	4	120		4			
			特別研究（広域看護）	4	120				4	
		基盤看護 ・看護管理 ・看護教育 ・基礎看護	基盤看護特論Ⅰ※	2	30	専攻領域 必修 12 単位	2			
			基盤看護特論Ⅱ	2	30			2		
			演習（基盤看護）	4	120		4			
			特別研究（基盤看護）	4	120				4	
共通選択科目	研究方法Ⅱ	1	15	共通選択科目と専攻領域 以外の特論（2 単位以上） をあわせて 9 単位以上	1					
	研究方法ⅢA	1	15			1				
	研究方法ⅢB	1	15			1				
	臨床薬理	1	15			1				
	コンサルテーション	1	15			1				
	専門外国語講読Ⅲ	2	30				2			
	赤十字人道援助研修 （H. E. L. P.）	4	90		4					
	人口動態	1	15		1					
	公衆栄養学	1	15		1					
	保健・看護総合特論Ⅱ	1	15				1			
	専門実習Ⅰ	2	90		2					
	専門実習Ⅱ	2	90				2			
	専攻領域以外の特論Ⅰ※から 選択	2	30		2					
	計					30 単位以上				

注 1) 「生涯発達看護」領域で、助産師国家試験受験資格の取得を希望する者は、別途（17 頁）示す。

助産師養成教育（助産師国家試験受験資格取得）

区分	授業科目	単位数	時間数	履修方法及び修了要件	履修方法及び単位数			
					1年次		2年次	
					①	②	③	④
共通必修科目	人間の安全保障と赤十字	1	15	共通必修9単位		1		
	グローバルヘルス	1	15		1			
	保健・看護総合特論Ⅰ	1	15		1			
	看護理論	1	15		1			
	法と倫理	1	15			1		
	専門外国語講読Ⅰ	1	15		1			
	専門外国語講読Ⅱ	1	15			1		
領域必修科目	研究方法Ⅰ	2	30	2				
	生涯発達看護特論Ⅰ※	2	30	2				
	生涯発達看護特論Ⅱ	2	30		2			
	演習（生涯発達看護）	4	120	4				
(助産師国家試験に必要な) 講義演習科目	課題研究（生涯発達看護）	4	120				4	
	助産学総論	1	30	17単位	1			
	ウィメンズヘルス	1	15				1	
	女性のフィジカルアセスメント	1	15		1			
	助産と薬理	1	15			1		
	周産期学（正常編）	1	15		1			
	周産期学（異常編）	1	15		1			
	新生児学	2	30		2			
	妊娠期のアセスメントとケア	2	30		2			
	分娩期のアセスメントとケア	2	30		1	1		
	産褥期・新生児のアセスメントとケア	2	30		1	1		
	地域母子保健	1	15			1		
	助産経営管理学	2	30			2		
(助産師国家試験に必要な) 実習科目	助産基礎実習	8	360		11単位		8	
	助産所実習	2	90			1	1	
	新生児集中ケア基礎実習	1	45				1	
共通選択科目	研究方法Ⅱ	1	15	共通選択科目と専攻領域以外の特論(2単位以上)をあわせて9単位以上	1			
	研究方法ⅢA	1	15			1		
	研究方法ⅢB	1	15			1		
	臨床薬理	1	15			1		
	コンサルテーション	1	15			1		
	専門外国語講読Ⅲ	2	30				2	
	赤十字人道援助研修(H. E. L. P.)	4	90		4			
	人口動態	1	15			1		
	公衆栄養学	1	15			1		
	保健・看護総合特論Ⅱ	1	15				1	
	専門実習Ⅰ	2	90			2		
	専門実習Ⅱ	2	90					2
	専攻領域以外の特論Ⅰ※から選択	2	30		2			
	計					58単位以上		

授業科目の概要				
(看護学研究科看護学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	担当教員	
共通必修科目	人間の安全保障と赤十字	「人間の安全保障」について、武力や暴力からの解放のみならず、移動、教育、就業とともに、健康であることの保障を具現化するための、保健・医療・看護の役割を明確化する。	五十嵐 清、上村 朋子	
	グローバルヘルス	グローバル化する感染症や環境破壊など、これまでとは次元の異なる健康問題を理解するために、開発過程に伴う各種健康課題を倫理・文化・政治・経済など学際的な視点で分析し、看護介入を考察する。	五十嵐 清、小川 里美	
	保健・看護総合特論Ⅰ	看護学・保健学研究の意義や経験してきた看護実践の意味をキャリア形成の観点も含めて再考し、文献および討議を通して探究する。	寺門 とも子、山勢 善江、小林 裕美	
	看護理論	看護領域における理論開発進展の経緯、看護理論の意義とその開発方法を探究するとともに、学生のとりあげる看護理論を中心に討論を行い、理論の理解、実践・研究への応用および課題について考察する。	本田 多美枝	
	法と倫理	看護・保健・医療の実践における法的・倫理的問題について学び、その解決策を検討する。また研究における研究者の責任について理解する。	柳井 圭子	
	専門外国語講読Ⅰ	保健・看護領域および関連した領域の外国語による入門的専門書の講読を行う。	因 京子	
	専門外国語講読Ⅱ	保健・看護の理論、実践、研究に関連する外国語文献を講読する。授業は、履修者の発表により進行する。	力武 由美	
	研究方法Ⅰ	看護・保健領域での研究において使用されている量的研究法と質的研究法の基本概念および考え方を習得する。	岡村 純	
保健コース	世界の健康危機管理	世界の健康危機管理特論Ⅰ	各種災害の理解に必要な既存の概念と理論および技術などを考察し、効果的・効率的な専門的介入方法を追究する。	五十嵐 清、上村 朋子
		世界の健康危機管理特論Ⅱ	自然災害サイクルのみならず人為・複合災害の各時期に必要な系統的知識と介入技術を探究する。	上村 朋子、小川 里美
		演習(世界の健康危機管理)	各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。	五十嵐 清、上村 朋子、小川 里美
		特別研究(世界の健康危機管理)	各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。	五十嵐 清、上村 朋子、小川 里美

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
保健コース	ヘルスプロモーション特論Ⅰ	対象集団の機能や構造、発達段階や健康レベルなどの特性を踏まえ保健行動を導くためのアセスメントやコミュニティをエンパワーメントする方法について探究する。	岡村 純、洲崎 好香
	ヘルスプロモーション特論Ⅱ	ヘルスプロモーションにおいて、活用できる概念、諸理論、技術などについて探究し、各分野における専門性の発展のための看護の展開方法を追究する。	岡村 純、洲崎 好香
	演習（ヘルスプロモーション）	各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。	岡村 純、洲崎 好香
	特別研究（ヘルスプロモーション）	各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。	岡村 純、洲崎 好香
看護コース	生涯発達看護特論Ⅰ	看護の対象者を生涯発達の観点で捉え、各期に生じる健康問題と生活への影響、それらの援助に必要な概念、諸理論、アセスメントについて探究する。	姫野 稔子、 エレラ ルルデス、 大倉 美鶴
	生涯発達看護特論Ⅱ	人間の生涯発達の各期におけるさまざまな健康レベルに応じた看護介入方法について探究する。	姫野 稔子、 大倉 美鶴、石山 さゆり
	演習（生涯発達看護）	各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。	姫野 稔子、 エレラ ルルデス、 石山 さゆり、大倉 美鶴
	特別研究／課題研究（生涯発達看護）	各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。 助産師国家試験受験資格を取得するものは、課題研究を行う。	姫野 稔子、 エレラ ルルデス、 石山 さゆり、大倉 美鶴
広域看護（ヘルステイカールケア、在宅ケア）	広域看護特論Ⅰ	クリティカルケア、メンタルヘルス、在宅ケアの各分野における国内外の諸制度やしきみを理解し、システムにおける実際と現状における諸問題に着目し、今後の在り方を考える。	山勢 善江、石橋 通江、 高橋 清美、小林 裕美
	広域看護特論Ⅱ	クリティカルケア、メンタルヘルス、在宅ケアの各分野において、活用できる概念、諸理論、技術などについて検討し、各分野における専門性の発展のための方法を探究する。	山勢 善江、石橋 通江、 高橋 清美、小林 裕美
	演習（広域看護）	各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。	山勢 善江、石橋 通江、 高橋 清美、小林 裕美
	特別研究（広域看護）	各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。	山勢 善江、石橋 通江、 高橋 清美、小林 裕美

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
看護コース	基盤看護特論Ⅰ	人間の尊厳を基本とした看護ケアの本質的側面を問い、そのケア提供を可能にするための看護政策、看護管理、看護教育のあり方について、基本となる概念、諸理論、方法論を探究する。	本田 多美枝、寺門 とも子
	基盤看護特論Ⅱ	激動する社会を見据え、看護管理、看護教育の中核的な役割を担うために必要となる組織マネジメント、人的資源活用、医療経営、医療安全、法的・倫理的諸問題などの知見について学び、課題解決に向けた方策を探究する。	柳井 圭子、寺門 とも子
	演習（基盤看護）	各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。	寺門 とも子、 本田 多美枝、柳井 圭子
	特別研究（基盤看護）	各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。	寺門 とも子、 本田 多美枝、柳井 圭子
共通選択科目	研究方法Ⅱ	量的研究に特化し、統計分析の基礎を身につける。	増成 直美
	研究方法ⅢA	量的な社会調査法において、質問票の作成、調査の実施、回答の分析の手法を実践を通して習得する。	増田 公香
	研究方法ⅢB	グラウンデッド・セオリー・アプローチなどを用いている質的研究事例を通して、質的研究法を習得する。	鈴木 清史
	臨床薬理	薬品が生体に及ぼす作用機序および反応について学び、薬物の作用・副作用、そして臨床応用の知識を習得する。	増成 直美
	コンサルテーション	専門分野の高度な保健・看護実践に関する相談・支援活動の展開とヘルスケア組織全体の看護の質向上のために、関係機関の協働と連携の調整者として、リーダーシップを発揮するために必要な方法を習得する。	石橋 通江、洲崎 好香
	専門外国語講読Ⅲ	保健・看護領域の外国語文献講読をとおして、海外での動向を考察する。授業は履修者の発表により進行する。	因 京子
	赤十字人道援助研修（H. E. L. P.）	紛争や自然災害という状況下での、集団の健康問題に対応するための基本的考え方、技術の習得を目的とする。講義と演習の組み合わせで構成されており、運営は英語によってなされる。	上村 朋子
人口動態	出生と死亡による人口変動（自然動態）と人口移動による変動（社会動態）から、国内外の人口数・人口構成の変化を、社会的・文化的背景を含めて理解する。中期的・長期的視点にたつて世界の人口動態を捉えることで、今後、地球規模で起こってくる健康課題を予測すると共に、その諸課題に対して、保健医療の専門家が果たすべき役割について考察する。	佐藤 都喜子	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
共通選択科目	公衆栄養学	集団および個人の健康保持増進、疾病の予防を図るため、公衆のもつ社会的・文化的特性が食生活に与える影響を、栄養との関連において考察する。また、さまざまな保健医療の専門家が共働して、住民参加型のヘルスプロモーション活動を実践するために必要な基礎知識を習得する。ここでの成果は災害時などに各国から寄せられる援助食糧を配分する手がかりともなる。	津田 博子
	保健・看護総合特論Ⅱ	看護学・保健学研究の今日的意義と課題を文献および専門分野の視点からの討議を通して探究する。	寺門 とも子、山勢 善江、 小林 裕美
	専門実習Ⅰ	履修者各自が、それぞれの専門領域において、探究すべき課題の明確化を図るために、実習テーマ・目的を定め、計画を立案し、実施評価までの一連のプロセスを踏む。 尚、助産師養成教育を受けるものは、妊娠期から産後までの継続事例やその家族に対して外来や家庭での保健指導を行い、助産実践力の向上をめざす。	専攻領域の教員
	専門実習Ⅱ	履修者各自が、それぞれの専門領域の実践力の向上を図るために、実習テーマ・目的を定め、計画を立案し、実施評価までの一連のプロセスを踏む。 尚、助産師養成教育を受けるものは、分娩・産褥早期の継続事例（新生児を含む）やその家族に対して助産ケアを行い、助産実践力の向上をめざす。	専攻領域の教員

助産師養成教育 講義演習・実習科目の概要		
(看護学研究科看護学専攻)		
授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
助産学総論	日本と世界の助産の歴史と文化、助産師教育の変遷、助産師職能団体の活動について学ぶ。さらに、専門職としての社会的役割について考察する。	清岡 佳子
ウィメンズヘルス	女性のライフステージにみられる特徴的な婦人科疾患に加え、更年期障害、不妊症など、今日的な女性の健康課題を取り上げ、生涯を通じた女性の健康支援のあり方について探究する。	後藤 智子
女性のフィジカルアセスメント	女性の形態と機能、生殖器の発生から内分泌機能の成熟、さらにライフサイクルにおける女性の身体変化などを基礎として、女性の健康アセスメントに必要な問診の視点を理解するとともに、フィジカルアセスメントの手法を習得する。	石山 さゆり
助産と薬理	女性のライフステージ、妊娠時における薬物動態の基礎、正常周産期の妊産婦および授乳婦のケア、そして産科救急に必要な薬品の薬理作用の知識を習得する。さらに、受胎調節実地指導に必要なピルを含めた避妊薬の知識を習得する。	増成 直美、吉永 宗義
周産期学（正常編）	正常な妊娠・分娩・産褥のアセスメントに必要な周産期学の知識として、妊娠の成立過程さらに妊娠分娩産褥に伴う生理的变化について考察する。	石山 さゆり
周産期学（異常編）	異常妊娠・分娩・産褥期の病態生理および合併症妊娠の病態、治療についての知識を習得する。また、緊急時の処置とその技術を習得する。	石山 さゆり
新生児学	<p>胚子・胎児の発生と正常な発達過程を知り、さらに新生児の成熟度と体格による新生児の分類とその評価を行う知識を深めるとともに、子宮内環境から子宮外環境への臓器別の生理的適応変化とそれを元にしたフィジカルアセスメントを習得する。</p> <p>また、出生時の適応障害、在胎週数別に見た合併症とその症状を理解し、新生児の治療方法を基本的治療（ケアや栄養管理）、薬物治療（薬剤投与の実際など）、特殊な治療（人工換気、交換輸血、脳低温療法など）について最近の知見も含めて学び、ケアの提供について研究する。予後不良の児や、染色体異常症、代謝異常症など遺伝に関わる疾患や奇形症候群の症例に対しての家族への支援方法についても検討する。</p>	吉永 宗義
妊娠期のアセスメントとケア	妊婦が身体的・心理的・社会的に健康であるか、また正常からの逸脱の有無をアセスメントし、妊婦・胎児が正常に経過するために必要な能力の習得をめざす。	石山 さゆり
分娩期のアセスメントとケア	産婦が身体的・心理的・社会的に健康であるか、また正常からの逸脱の有無をアセスメントし、産婦とその家族が安全・安楽に出産するために必要な能力の習得をめざす。	石山 さゆり

授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
産褥期・新生児の アセスメントとケア	産後の母体と新生児の経過と正常（生理的な変化）であるか、また、逸脱・異常およびハイリスク状態の徴候がないかをアセスメントし、褥婦と新生児に対して適切なケアを選択し、親として自立が図れるよう家族を含めた健康教育を行うために必要な能力を習得する。	後藤 智子
地域母子保健	国際化を視野に入れ、地域における母子保健、女性保健を推進するために助産師に必要な基礎的能力を習得する。	平田 伸子
助産経営管理学	妊産婦や新生児により安全で満足できるケアを提供するための業務を遂行するための管理（助産所、診療所、病産院）と助産機能評価について研究する。また、経営、医療事故、災害などのリスクマネジメントについて、現在の周産期医療現場が抱える課題と対応について考察する。	清岡 佳子
助産基礎実習	周産期の母子とその家族を対象に、安全で快適な助産を提供するために必要な基本的助産診断・技術能力、態度を習得することをめざす。	石山 さゆり
助産所実習	助産所の管理システムを理解し、妊産婦ケアの実際、出産における安全性の確保と医療連携のあり方について研究し、自律した助産師として、助産ケアを評価・分析するための基礎を養う。	後藤 智子
新生児集中ケア 基礎実習	急性期にある新生児のケア（身体的ケア、発達支援、親子関係の促進、授乳支援など）に必要な基礎的能力を養う。新生児集中治療室における、新生児とその家族に必要なケアと周産期医療体制（病院内での他職種との協働や地域関係機関との連携のあり方など）について考察する。	後藤 智子

《 履修モデル 》

本研究科では、各大学院生の目的や経歴に応じた履修が可能です。
4つの履修モデルを例示しますので、履修計画の参考にしてください。

履修モデル1 国内外での保健医療福祉における実践者、教育者・研究者をめざす

保健コース 世界の健康危機管理領域（標準課程）

区 分	授 業 科 目	履修方法 及び 修了要件	履修方法及び単位数			
			1年次		2年次	
			①	②	③	④
共通必修科目	人間の安全保障と赤十字	共通 必修9単位		1		
	グローバルヘルス		1			
	保健・看護総合特論Ⅰ		1			
	看護理論		1			
	法と倫理			1		
	専門外国語講読Ⅰ		1			
	専門外国語講読Ⅱ			1		
	研究方法Ⅰ		2			
健康危機管理 領域 必修科目	世界の健康危機管理特論Ⅰ	専攻領域 必修12単位	2			
	世界の健康危機管理特論Ⅱ			2		
	演習（世界の健康危機管理）		4			
	特別研究（世界の健康危機管理）				4	
共通選択科目	研究方法Ⅱ	共通選択科目 と専攻領域以 外の特論Ⅰを あわせて9単位 以上	1			
	研究方法ⅢA			1		
	赤十字人道援助研修(H.E.L.P.)		4			
	人口動態		1			
	ヘルスプロモーション特論Ⅰ		2			
計			30 単位			

履修モデル2 生涯発達看護（成人/老年）領域における看護の学習、実践を通して
見出した課題を探究し、実践者、教育者・研究者をめざす（標準課程）

看護コース 生涯発達看護（成人/老年看護）領域（標準課程）

区 分	授 業 科 目	履修方法 及び 修了要件	履修方法及び単位数			
			1年次		2年次	
			①	②	③	④
共通必修科目	人間の安全保障と赤十字	共通 必修9単位		1		
	グローバルヘルス		1			
	保健・看護総合特論Ⅰ		1			
	看護理論		1			
	法と倫理			1		
	専門外国語講読Ⅰ		1			
	専門外国語講読Ⅱ			1		
	研究方法Ⅰ		2			
生涯発達看護 領域 必修科目	生涯発達看護特論Ⅰ	専攻領域 必修12単位	2			
	生涯発達看護特論Ⅱ			2		
	演習（生涯発達看護）		4			
	特別研究（生涯発達看護）				4	
共通選択科目	研究方法Ⅱ	共通選択科目 と専攻領域以 外の特論Ⅰを あわせて9単位 以上	1			
	研究方法ⅢB			1		
	臨床薬理			1		
	コンサルテーション			1		
	公衆栄養学		1			
	広域看護特論Ⅰ		2			
	基盤看護特論Ⅰ		2			
計			30 単位			

履修モデル3 広域看護（メンタルヘルス）領域における看護の学習、実践を通して見出した課題を探究し、実践者、教育者・研究者をめざし、仕事を継続しながら履修する（長期履修課程）

看護コース 広域看護（メンタルヘルス）領域（長期履修課程）

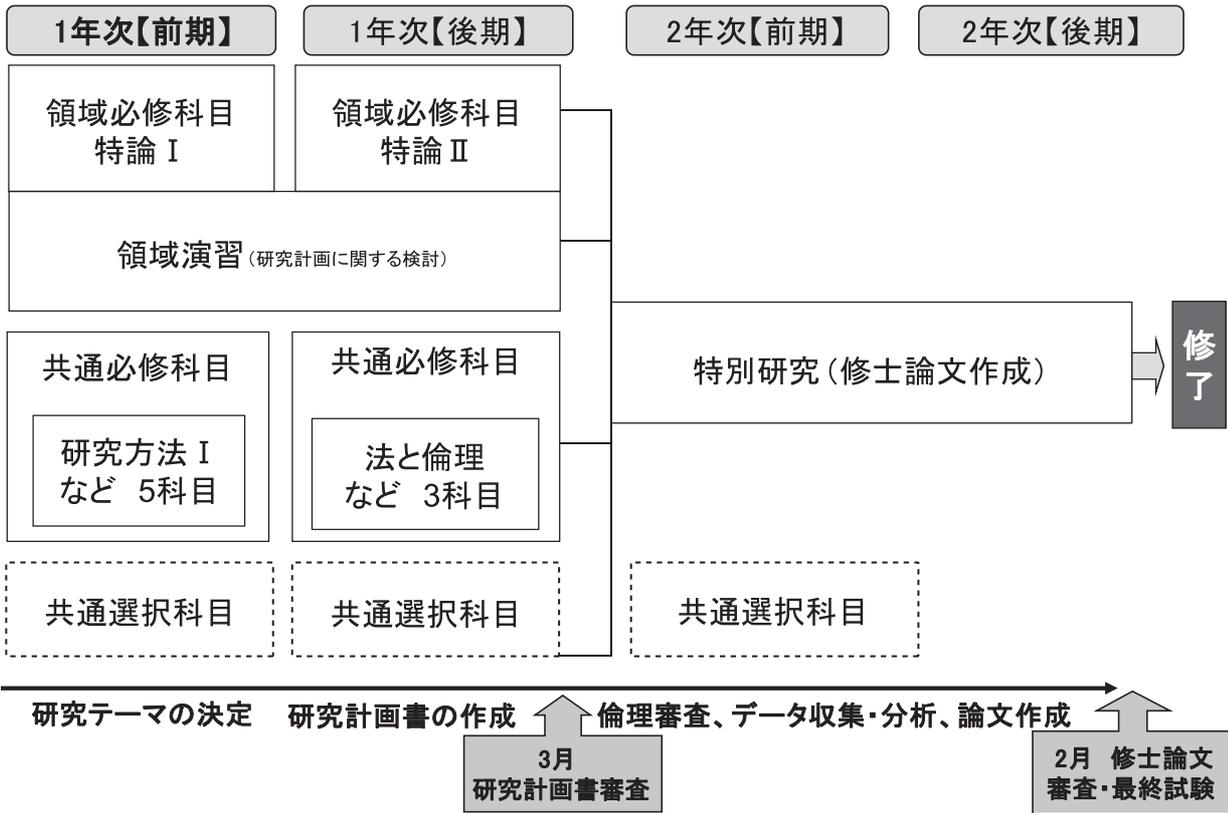
区 分	授 業 科 目	履修方法 及び 修了要件	履修方法及び単位数					
			1年次		2年次		3年次	
			①	②	③	④	⑤	⑥
共通必修科目	人間の安全保障と赤十字	共通 必修9単位		1				
	グローバルヘルス		1					
	保健・看護総合特論Ⅰ		1					
	看護理論		1					
	法と倫理			1				
	専門外国語講読Ⅰ				1			
	専門外国語講読Ⅱ					1		
研究方法Ⅰ		2						
広域看護領域 必修科目	広域看護特論Ⅰ	専攻領域 必修12単位	2					
	広域看護特論Ⅱ			2				
	演習（広域看護）				4			
	特別研究（広域看護）						4	
共通選択科目	研究方法Ⅱ	共通選択科目 と専攻領域以 外の特論Ⅰを あわせて9単 位以上	1					
	研究方法ⅢA			1				
	コンサルテーション					1		
	専門外国語講読Ⅲ				2			
	保健・看護総合特論Ⅱ				1			
	生涯発達看護特論Ⅰ		2					
基盤看護特論Ⅰ			2					
計			31単位					

履修モデル4 生涯発達看護（助産）領域における看護の学習、実践を通して見出した課題を探究するとともに、助産師の資格取得をめざす

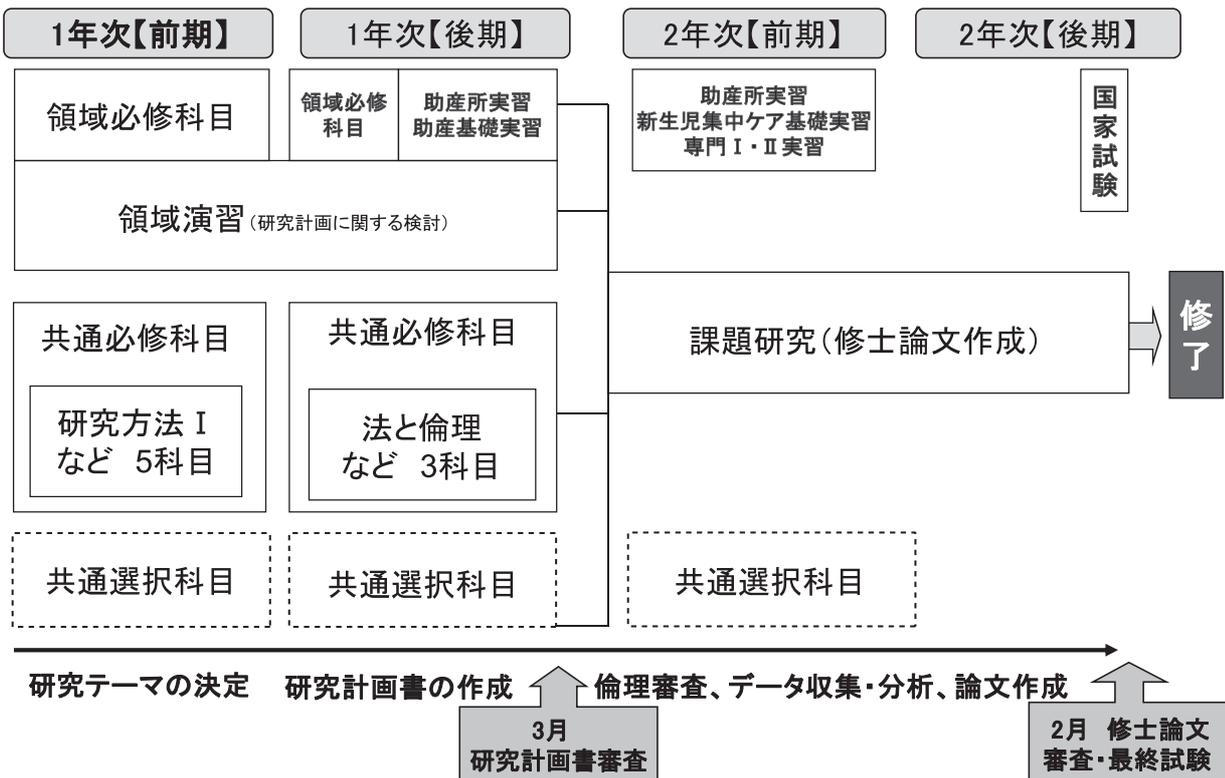
看護コース 生涯発達看護（助産）領域（助産師国家試験受験資格取得者）

区 分	授 業 科 目	履修方法 及び 修了要件	履修方法及び単位数			
			1年次		2年次	
			①	②	③	④
共通必修科目	人間の安全保障と赤十字	共通 必修9単位		1		
	グローバルヘルス		1			
	保健・看護総合特論Ⅰ		1			
	看護理論		1			
	法と倫理			1		
	専門外国語講読Ⅰ		1			
	専門外国語講読Ⅱ			1		
	研究方法Ⅰ		2			
生涯発達看護 領域 必修科目	生涯発達看護特論Ⅰ	専攻領域 必修12単位	2			
	生涯発達看護特論Ⅱ			2		
	演習（生涯発達看護）		4			
	課題研究（生涯発達看護）				4	
(助産師国家試験 に必要な) 講義演習科目	助産学総論	17単位	1			
	ウィメンズヘルス				1	
	女性のフィジカルアセスメント		1			
	助産と薬理			1		
	周産期学（正常編）		1			
	周産期学（異常編）		1			
	新生児学		2			
	妊娠期のアセスメントとケア		2			
	分娩期のアセスメントとケア		2			
	産褥期・新生児のアセスメントとケア		2			
	地域母子保健			1		
	助産経営管理学			2		
(助産師国家試験 に必要な) 実習科目	助産基礎実習	11単位		8		
	助産所実習			1	1	
	新生児集中ケア基礎実習				1	
共通選択科目	研究方法Ⅱ	共通選択科目 と専攻領域以 外の特論Ⅰを あわせて9単位 以上	1			
	研究方法ⅢB			1		
	コンサルテーション			1		
	人口動態		1			
	公衆栄養学		1			
	基盤看護特論Ⅰ		2			
	広域看護特論Ⅰ		2			
計			58単位			

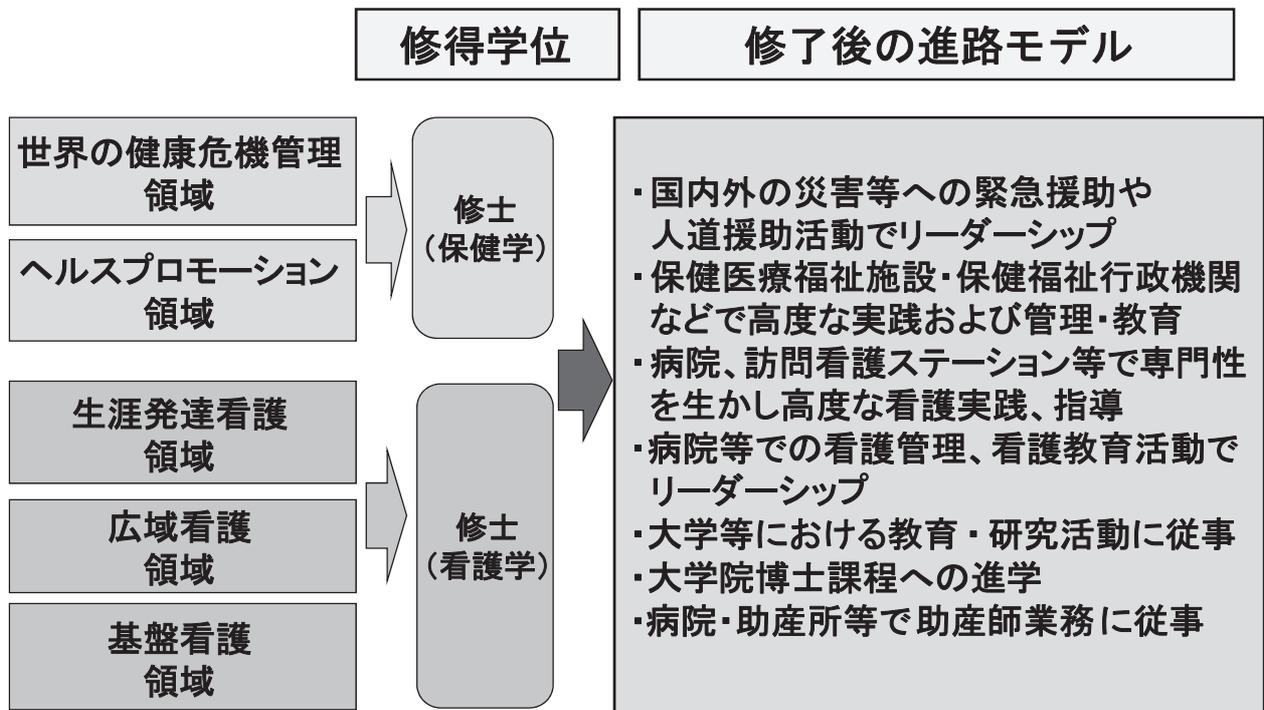
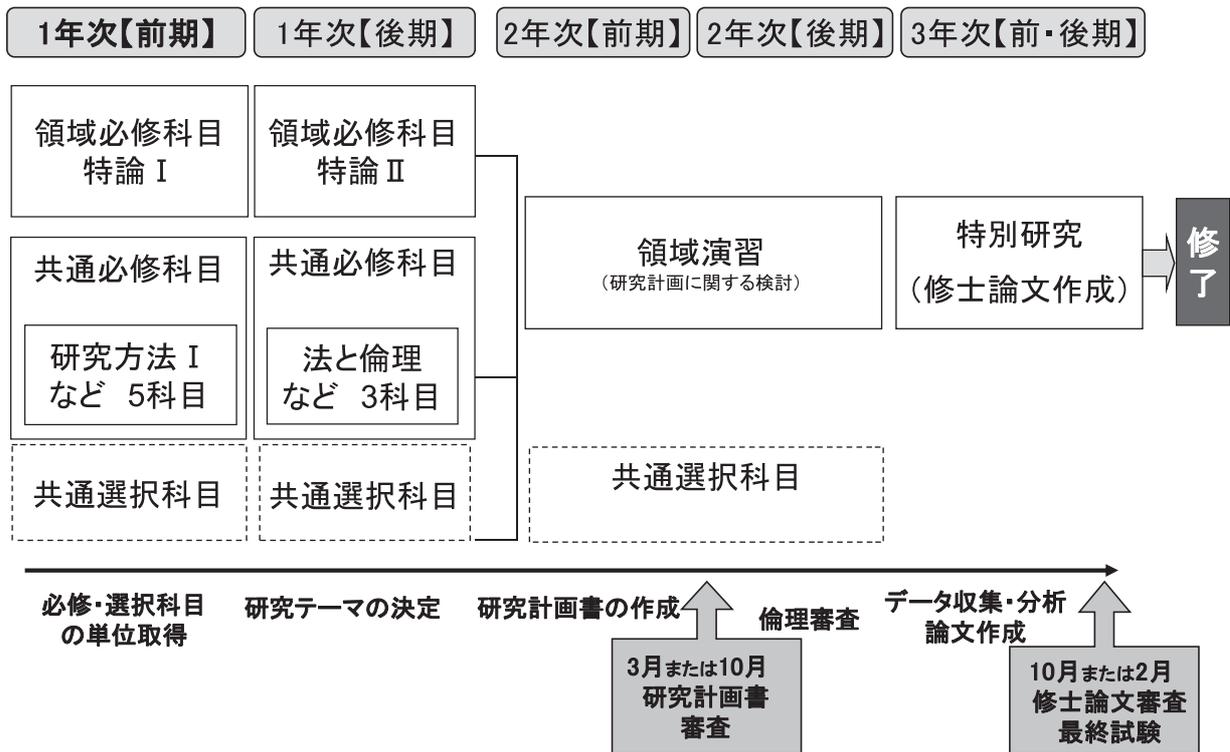
入学から修了までの履修の流れ(①標準課程)



入学から修了までの履修の流れ (②助産師国家試験受験資格取得者用)



入学から修了までの履修の流れ(③長期履修課程)



日本赤十字九州国際看護大学事務局 学務課

〒811-4157 福岡県宗像市アスティ 1丁目 1番地

電 話 (0940) 35-7008 平日 8:40~17:20

FAX (0940) 35-7021

<http://www.jrckicn.ac.jp>

※照会は、受験を希望している本人が行ってください。